

物流人材育成でISO

免許取得後に職業訓練

田方自動車学校(小林淳一郎社長、静岡県函南町)が提供する物流人材の育成に向けた職業訓練事業が12日、日本品質保証機構(JQA、小林憲明理事長)の学習サービスマネジメントの国際規格「ISO29990」の審査を通過し、登録証を受領した。

(梅本誠治)

田方自動車学校

JQAが2010年に職業品質を保証する同認証を始業訓練などの学習サービス一めて以来、指定自動車学校

事業者の負担軽減めざす

が登録されるのは初めて。物流業界に入った初心者を受け入れ、免許取得後に職業訓練の枠で1カ月程度、物流現場に関わる教育を担い、人材を採用した事業者の負担軽減を目指す。

同校では、大型自動車免許取得やフォークリフト、クレーン、玉掛けなどの労働安全衛生に加え、厚生労働省の有料職業紹介や県の認定職業訓練校の認可取得など、多岐にわたって物流業界の人材育成を手掛けている。

今回の認証取得は物流業界の人手不足に対し、運転免許教育を主力としてきた自動車学校が更に一歩踏み込み、実践的な人材教育と

確保を仲介する新たな動きとして期待される。小林社長は「認証取得への取り組みは、社内改革の一環として2年前から始めた。物流業界で免許制度が人材確保のネックとなっていて、新入社員が即戦力とならない実情に目を付けた。我々の使命は、物流業界を目指す人と事業者の橋渡しと考えている」と語った。

同日の認証式典に先立ち、物流人材育成のためのシンポジウムを開催。中部運輸局自動車交通部の古橋靖弘貨物課長、静岡労働局職業安定部の室井茂郎需給調整指導官、静岡県トラック協会(大須賀正孝会長)の窪田智樹専務、JQAの福井安広理事、小林社長らが、それぞれの立場から、運輸行政や人材動向、免許制度、トラックの最新機能

など物流業界を取り巻く現状について説明した。小林氏は「将来的には、ISOの裏付けで実践的かつ高度な体系的教育を確立

するとともに、職業訓練の枠で事業者と免許取得者のマッチングなどを担っていきたい」と話した。

JQAの福井理事から登録証を受ける小林社長(左)

